

■教員情報

氏名／name		井上 信次／INOUE Shinji
職 位		准教授
所 属		健康科学部地域福祉学科
学 位		博士（医療福祉学）、修士（社会学）
免許・資格		専門社会調査士
実務経歴		なし
専 門		社会学、社会調査法
授業	大学	社会学、倫理学、社会調査論Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・演習・実習、医療と福祉の社会学、入門ゼミナール、専門ゼミナール、地域福祉研究
	大学院	—
研究テーマ・研究業績		<p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療福祉分野を対象にした質問紙調査 ・知的障害者及び発達障害者の生涯学習にむけたインクルーシブ教育 ・親のメンタルヘルス問題と児童虐待との関係 ・高齢者のスピリチュアリティとケアマネジメント ・Ethical, Legal and Social Issuesの社会学的研究 <p>【研究業績】</p> <p>主要著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>井上信次</u>：マーゴリンのソーシャルワーク批評に関する考察. 熊谷忠和,長崎和則,竹中麻由美（編）, 多面的視点からのソーシャルワークを考える：研究と実践をつなぐ新たな整理. 晃洋書房, 29-37, 2016年. ・<u>井上信次</u>：健康生成論への視点の転換—行政の『学校裏サイト』調査にみる『子ども』の脆弱性. 深谷昌志, 深谷和子, 高橋正人（編）,ユビキタス社会の中での子どもの成長. 58-66, ハーベスト社, 2010年. <p>主要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>井上信次</u>, 松宮透高：保育所における虐待リスクの重複による対応上の困難感および関連機関との連携の現状.厚生指標. 66(6), 9-15, 2019年. ・<u>井上信次</u>：選択肢間の距離に関する一考察：尺度の等間隔性と非等間隔性. 川崎医療福祉学会誌, 27(1), 129-137, 2017年. ・水口由紀子, 中新美保子, <u>井上信次</u>：青年期大学生の親準備性を育む要因の検討. 川崎医療福祉学会誌, 27(1), 129-137, 2017年 ・<u>井上信次</u>, 熊谷忠和, 下田茜：生きていることの有意味感 ハンセン病当事者のライフストーリー分析から. 川崎医療福祉学会誌, 25(2), 301-306, 2016年. ・<u>井上信次</u>：項目反応理論に基づく順序尺度の等間隔性 質問紙調査の回答選択肢(3~5件法)の等間隔性と回答のしやすさ. 川崎医療福祉学会誌, 25(1), 23-35, 2015年. ・松宮透高, <u>井上信次</u>：児童福祉施設入所児童への家庭復帰支援と親のメンタルヘルス問題.厚生指標. 61(15), 22-27, 2014年. ・出宮由季, <u>井上信次</u>, 小河孝則：ケアマネジャーによる利用者の自己決定支援を阻害する要因について ケアマネジャーを対象とした調査から. 人権教育研究, 12, 45-54, 2012年. ・<u>井上信次</u>, 岡本宣雄：特別養護老人ホームの待機者調査にみる待機者及びその介護者へのアウトリーチの必要性. 川崎医療福祉学会誌, 20(2), 331-345, 2011年.

研究キーワード	社会学、社会調査法、メンタルヘルス、インクルーシブ教育
地域活動	特記事項なし
URL	